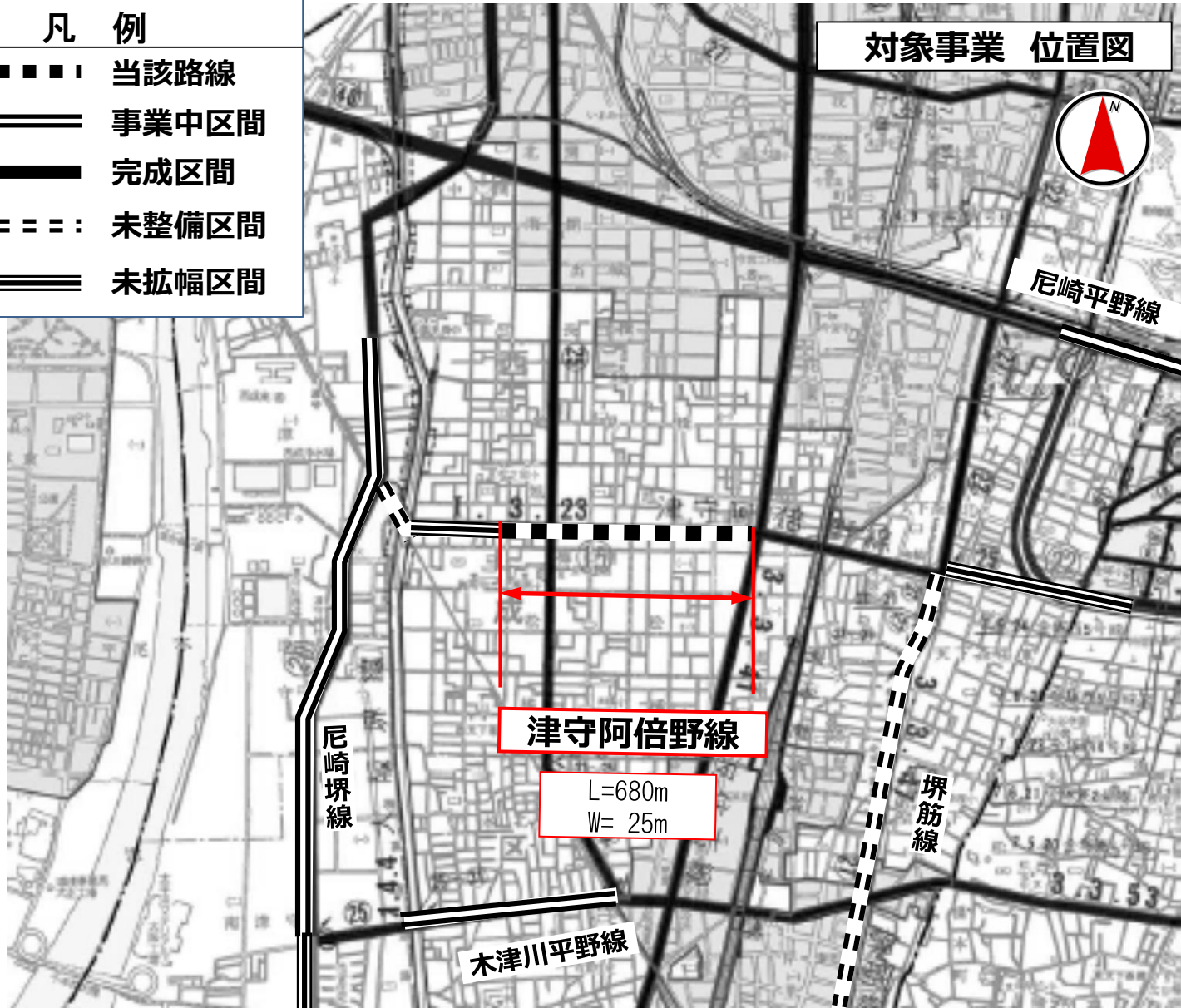


西成区旭3丁目～西成区梅南1丁目

凡 例	
■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	当該路線
====	事業中区間
————	完成区間
- - - - -	未整備区間
====	未拡幅区間



便益 (単位：億円)

走行時間短縮	6.8
走行経費減少	0.3
交通事故減少	0.0
歩行者快適性向上	2.2
合計 (初年便益)	9.3
合計 (便益総額の現在価値)	165.6

費用 (単位：億円)

事業費 (単純合計)	66.5
維持管理費 (単純合計)	1.0
投資総額の現在価値	110.4

社会費用便益比B/C	1.50
------------	------



図一 津守阿倍野線

注) 小数第二位を四捨五入しているため、合計値が合致しない場合がある。

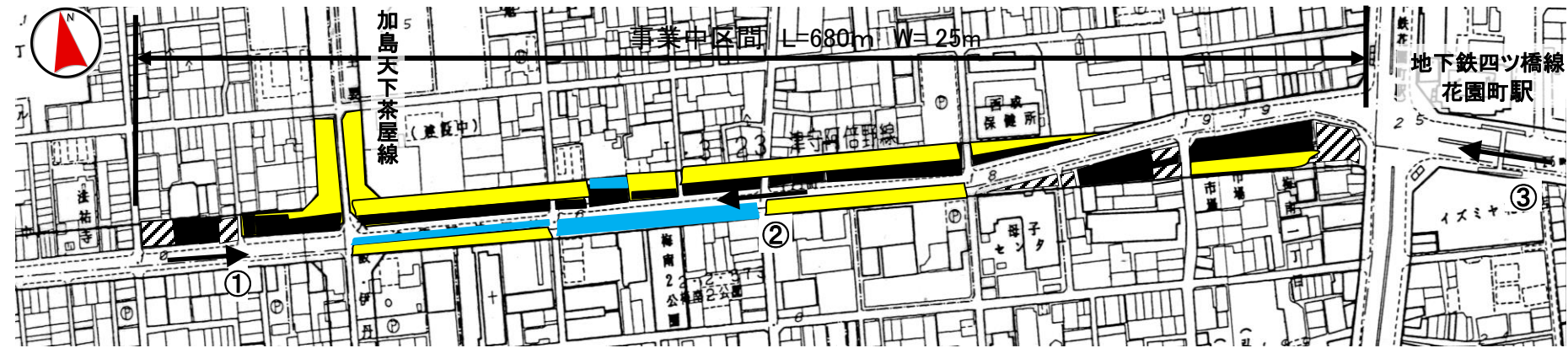
①



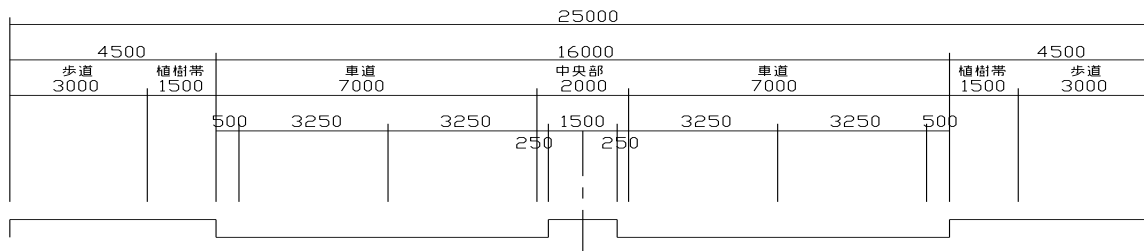
②



③



計画断面図



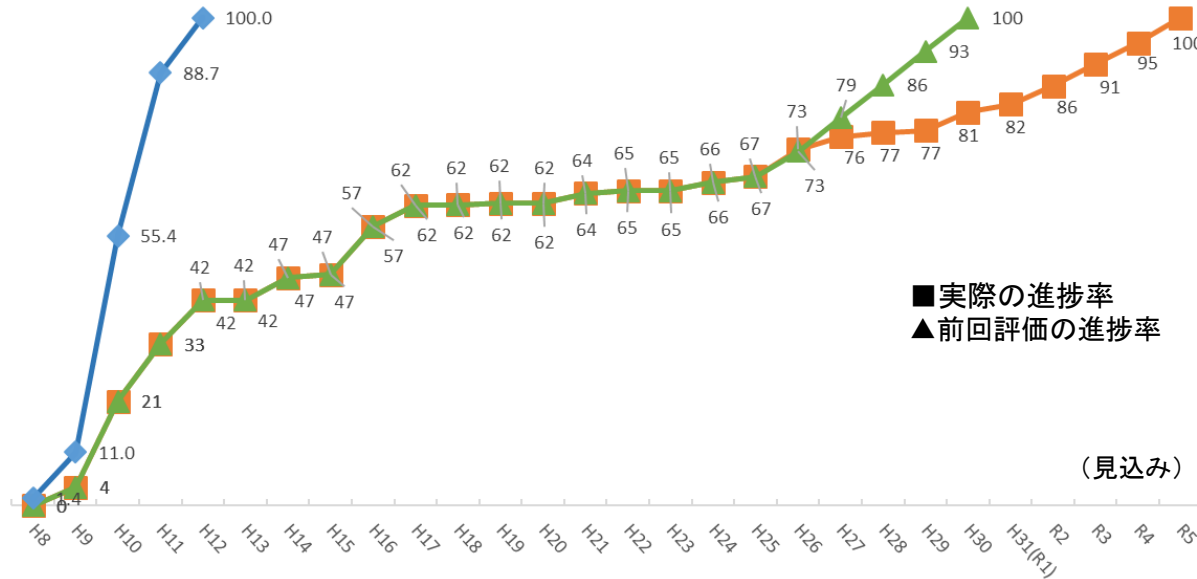
凡 例	
	用地取得済箇所
	整備済箇所
	残用地取得物件
	施工中箇所

用地取得率: 90% (面積ベース)  
工事進捗率: 27% (面積ベース)

事業費ベース進捗率: 82%

進捗率の推移(単位:%)

事業採択時の  
想定進捗率



残事業の内容

- ・用地取得19件(705㎡)
- ・道路工事(延長680m、面積17,000㎡)
- ・残事業費約12億円

今後のスケジュール(見込み)

- ・令和5年度 事業完了予定

事業が遅延した原因とその状況

・用地取得において、売買に難色を示されていることなどで、用地買収が難航し、事業が長期化していた。

対応と解消の目途及びその根拠

・用地取得において、難航している物件については、収用手続きへの移行も視野に入れながら、用地取得を進める。

